

- 環境価値
- ZEH

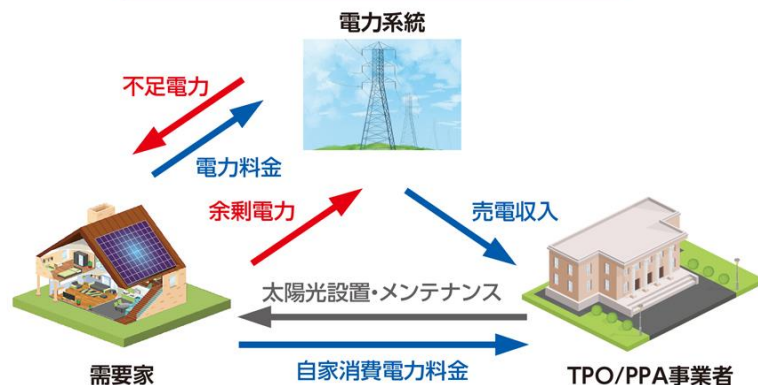
「第三者所有モデル」 「PPAモデル」

太陽光発電の第三者所有（TPO: Third-Party Ownership）モデルは、パネルの販売・設置者及び設置場所を所有する電力需要家以外の第三者（TPO事業者）が太陽光発電設備の所有者となるビジネスモデルです。需要家は自家消費した太陽光電力の料金を事業者に支払う電力購入契約（PPA: Power Purchase Agreement）を結ぶことから、TPO/PPAモデル或いは単にPPAモデルと呼ばれることもあります。TPOモデルは太陽光発電の所有形態を表し、PPAモデルはTPOモデルに付随する電力契約を表しており、PPAモデルは、TPOモデルと同義ではなく、TPOモデルの中の一つのモデルという扱いになります。

太陽光発電の余剰分を売電した場合、売電収入は所有者である事業者のものとなり、夜間などに不足した電力は系統から購入します。また、一定の契約期間が終了すると太陽光発電設備は需要家に無償で譲渡されます。自家消費分の電力料金は系統から購入する場合より安く設定されているため、需要家は初期費用なしで電気料金の削減と環境価値の入手が可能です。

太陽光発電の第三者所有モデルのZEH住宅への活用や蓄電システムの第三者所有モデルも期待されています。

太陽光発電の第三者所有モデル



太陽光パネルと蓄電システムの第三者所有スキーム例

